



# 新型コロナ:市に緊急申し入れ

## 休業補償&医療体制:国の責任で抜本体制を

### 「新型コロナウィルス」感染拡大に伴う緊急申し入れ

岩見沢市内でも感染者が発生し、全道・全国・全世界に広がりを続ける「新型コロナウィルス」。夕張市では2月末、新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、情報収集や今後の対応等について検討を始めました。市民生活において様々な影響が懸念されることから、今後、市民の命と暮らしを守る立場でさらなる対応を求め、日本共

産党夕張市委員会として3月17日、市に緊急要請として、次の10項目を申し入れました。

- 1、夕張市として国の正確な情報発信、医療・診療体制の確保、一斉休校措置などによって休業を余儀なくされた働く人々への休業補償、中小企業・中小業者への損失補てん、無利子・無担保融資の
- 2、市として、新型コロナウイルス感染症による学校・社会教育、医療・福祉、中小企業・中小業者などへの影響の実態調査をすること。
- 3、市民の不安に対応するための「ワンストップ」の「相談窓口」を早急に設置し、そのための相談員の配置を速やかに行い、市民に周知すること。
- 4、医療・介護現場などに於けるマスク不足、消毒剤などの品薄状態解消のため、市の援助すること。
- 5、子どもたちへの感染拡大を防止し、命と健康を守ること。最優先に、休校措置の柔軟な見直しをすること。共働き世帯、ひとり親世帯など、親が仕事で家を離れざるをえない世帯や、子どもを家に残しておかざるをえない世帯に、柔軟な対応をすること。

実現をはじめ、抜本的な財政措置を講ずること。また、自治体への財政支援を機動的に行うよう強く要請すること。

日本共産党

どうなる どうする

### 新型コロナ対策



猛威をふるう新型コロナウイルス感染症。

国民のいのちと健康をまもる政治の責任が問われています。

#### いのちまもる医療体制に

##### PCR検査

政府は「保険適用で検査数をふやす」と言いますが、実際には1日平均1300件程度(3月18日現在)。小池晃書記局長は、「医師が必要だと判断した人はすべて受けられるように、検査数を抜本的にふやすべきだ」と政府に迫っています。

##### 保健所

新型コロナ対策の最前線にたつ保健所は、「予算もなく、クラスター対策に人員が割けない」と悲鳴。1995年以来、保健所は半減、職員も激減しています。いま政府がやるべきは、国民のいのちをまもるために必要な予算を抜本的にふやすことです。

##### 医療用マスク

政府が「3500万枚を確保した」というマスク。しかし、医療機関1カ所あたりではたった83枚です。「現場の必要数を明らかにし、政府が一括購入すべきだ」と倉林明子参院議員が迫りました。

##### 傷病手当

国は、自営業者への「傷病手当」を対象外としてきましたが、「コロナ感染の場合は、全額国が補てんするから」として、支給を認める通知を全国の自治体にだしました。

#### こんなときに公的病院 424カ所の統廃合?

過去5年で758の医療機関を閉鎖したイタリアは医療崩壊を招き、中国をこえる死者数に。安倍政権は、公的病院の大幅削減計画を白紙撤回すべきです。

を対し、適切な対応を... 行かないことによる... ストレスの増大... 対... ことによる... うこと。給食がない... 軟で適切な支援を... ない世帯に對し、柔... 残しておかざるを... 帯や、子どもを家に... 離れざるをえない... ど、親が仕事で家... ずること。共働き世... 帯、ひとり親世帯... ずること。共働き世... 置の柔軟な見直しを... を最優先に、休校措... 命と健康を守ること... 感染拡大を防止し、

日本共産党

### 「コロナ不況」から

## 生活防衛する 緊急対策を



消費税10%増税が国民生活を直撃したところに、新型コロナウイルスの打撃…。日本経済はいま深刻な不況におちいりつつあります。

- 緊急に、国民生活をまもるあらゆる手立てをとる、
- 外需に頼れなくなるもとの、内需の拡大に力を集中する——いま必要なのは、こうした立場にたった大胆な経済政策です。

### ●無利子・無担保融資を抜本的に

政府の枠組5000億円 → リーマン・ショック対策なみの数十兆円規模に

### ●雇用調整助成金を10分の10補助へ

政府方針は平時の3分の2 → 休業・時短の給与保障で、解雇・内定取り消しをいとめる

### ●フリーランスへの所得補償制度をつくる

「休校理由」に対象限定 → 会社員と同等の補償に

### ●イベント中止の損害は国の責任で

政府の要請で中止なのに補償ゼロ → 演劇、芸能、音楽などの実害は国の責任で補償を

6、学童保育、及び支援を必要とする子どもたちに対し、その実態について調査し、昼食や遊び場、教材などの確保をはじめ、きめ細やかな支援を行うこと。

7、学校やスポーツ施設など、社会教育施設を柔軟に運用すること。

8、コロナウイルス等により経営が悪化している市内の中小業者支援のため、制度融資を柔軟かつ機動的に適用し、

利子、信用保証協会への保証料をゼロにするのと。そのための財政支援を、国に要望すること。

売り上げ・収入が激減したり、事業内容を縮小した事業者に対し、損失補償を行うよう、国に要望すること。また、国保料の減免制度など支援策をつくること。

9、感染防止のため、受診抑制の原因となつている国民健康保険の資格証明書発行世帯に対し、すぐに短期の被保険者証を郵送で発行すること。

10、高齢者独居等、支援の必要な世帯に対して、電話なども使つて安否確認や相談窓口等の情報の周知をはかるとともに、広報紙・広報車を使つて全市民に向けても周知すること。

## 子どもたちのケアを

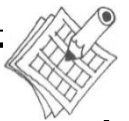
学校に行けず、友だちとも遊べず、勉強もできない…。新型コロナによる混乱で、子どもたちが大きな被害をうけています。

日本共産党は、「校庭使わせない」「給食ださない」などの硬直した対応を、政府の責任であらためること、●障害児の学校受け入れ、放課後デイサービスへの財政支援をおこなうこと、など政府に申し入れています。

## 消費税5%への緊急減税を

### 内需・家計と中小企業支援に力を集中する

与党からも「消費税減税を」の声が…。そもそも消費税10%増税が引き金を引いた大不況。緊急に5%にもどすことは、消費を下支えし、国民の所得をふやし、景気を回復するいちばんの対策です。



## くずさんの夕張歴史散歩(132)

### 明治維新46／朝鮮植民地支配 ㊸

度重なる日本政府の暴挙に、1905年頃から朝鮮半島の各地で「義兵」が起ち、抗日のたたかいが起きます。

### 義兵のたたかい

農民を中心に商人、工員、市民をはじめ軍人、両班(やんぱん・特権的な官僚)など各階層の民衆による蜂起、いわゆる「義兵闘争」が続発します。そこには東学農民戦争の血が脈々として引き継がれていました。

### 首都京城の天地大騒擾

皇帝の強制譲位をきっかけに、京城では韓国軍の一部も参加する数万人の抗議集会と抗日武装蜂起が起ります。そして蜂起は瞬く間に全土に拡大します。それは日本軍・憲兵・警察によって、家族を殺され家を焼かれ、土地を奪われた民衆による、もはや「義兵戦争」でした。

日本軍の記録\*でも「京城の天地に大騒擾を起こしその余波暫時地方に伝播せむ」とあります。

これに対し日本軍は、「守備隊を移動させて方が一に備え、7月下旬歩兵第一二旅団を渡韓させ京釜鉄道沿線に配置し、第一三師団と協力し暴徒討伐にあたらせ」ます。またしても武力をもつての、弾圧支配です。

### 第三次日韓協約

謀略的に大韓国の皇帝を退位させますが、伊藤総監はこれにあきたらず、1907年(明治40)7月24日には第三次日韓協約を結び、徹底的に韓国の解体にかかります。今度は行政権・司法権や官吏の任命権も統監の承認・同意のもとにおき、最後には韓国軍も解散させます。こうして韓国の政治全般は、完全に総監府が握ることになりました。

\*「朝鮮駐劄軍歴史」日本の侵略と「歴史教科書」吉岡吉典より



畠山和也「かけある記」  
前衆議院議員

## 畠山 和也

### 自粛に補償を、医療・介護に支援を

「学校休校にともなう休業補償を事業所が認められない」「短縮営業になったため非正規職員の方は減収。厳しい」など、新型コロナウイルスにとりまわす相次いで寄せられています。

こういう時は思い切った支援が必要です。「自粛を要請するならば補償をセットで」。この声が全国で広がってきています。小規模事業者や自営業者、フリーランス(約千五百ユーロ(約十八万円))を第一段階として即時支給したフランスのように、日本でも取り組むべきではないでしょうか。医療や介護、福祉の現場では「みずからが感染しない」「感染を持ち込まない」と緊張感をもって患者・利用者に接しています。しかし、これまで社会保障予算の抑制路線によって人手不足が続いてきたなか、ギリギリの体制で疲れもたまっていることでしょう。今こそ国が最大限の支援を進めるべきです。

自然災害や感染症の被害は、社会的立場や生活基盤が弱い人に集中していきます。初めに書いた電話相談だけでなく、足を運んで話を聞くと堰を切ったように窮状が訴えられます。感染拡大防止もおこなないながら、こういう時こそ日本共産党が力を発揮する時。使える制度も紹介して当面のくらしや商売を守りながら、拡充策を私も国会へ引き続き連携して伝えていきます。

雪解けも進み、フキノトウなどが芽を出してきました。自粛などの重しが取れた春の喜びを、早く感じられるようにしたいものです。